



ロン D. バートン
2013-14年度国際ロータリー会長



高砂

No. 29

Takasago Rotary Club

週報

クラブ会長方針

【目 標】

- ・親睦を深め会員ご家族とのお付き合い
- ・ロータリークラブを今一度考えなおし、各委員会活動への理解を得る
- ・ロータリークラブの地域へのアピール

例 会 記 録 (2014. 2. 8 (土)) 通算2,976回

東播第2グループ I.M.

◆来訪ロータリアン (2月7日)

明 石 R C 河合宏昭会員 西海正隆会員 成田良伸会員 井上雅文会員
伊藤慎介会員 藤本隆水会員 松岡睦生会員
姫路西 R C 松尾京一会員
姫路南 R C 高梨敏明会員

◆プログラム予定

2月14日 (金)	2月21日 (金)	2月28日 (金)	3月7日 (金)
第2680地区奨励 米山奨学生の1年の学び と帰国後の活動について 坂西卓郎氏	卓話「モルドバ事情」 沓澤様	卓話 私の趣味② 「アートバルーン」 豊田克義会員	卓話 会長経験者第3弾 庄司 治会員

◆出席報告

本日 2月 8日 会員数44名 出席者15名 出席率 42.86%
前々回 1月24日 会員数46名 修正出席者40名 出席率100.00%

◆MAKE-UP

河合 利昭会員 高砂青松RC 2月5日(2月21日)
桂田 重信会員 高砂青松RC 2月5日(2月14日)

◆本日のプログラム



2013～14年度 国際ロータリー 第2680地区 東播第2グループ I.M.

日時：平成25年2月8日(土)
場所：加古川プラザホテル 2階



14:00 登録・受付
挨拶

総合司会 宮宅 勇二
I.M. 実行委員長 河合 勝

プログラム前半

未来を担う東播第2グループ内の 夢ある高校生との集い

14:30 高校生発表会 司会進行 県立加古川南高等学校放送部

- 14:40 ・県立東播工業高校～「機械科：空飛ぶ車いすサークル」
- ・県立加古川東高校～「地学部」の活動について
- ・県立農業高校～「農業クラブ」の活動について
- ・県立加古川南高等学校～「我が家の防災対策シート」について
加古川市広報(平成25年7月号)に掲載

[休 憩]

- ・県立高砂高校～「ビッグ・フレンドリー・ジャズ・オーケストラ」の演奏会
※「花は咲く」を全員で合唱
※感謝「四つのテスト」バナー贈呈式～参加校卒業のロータリアンからの贈呈

17:00 発表会終了

[控室にてドリンクタイム]

◆ホール展示

- ・各参加高校からのポスター掲示
- ・県立農業高校生作品～カトレア等のチャリティー展示即売会

※チャリティー基金はI.M.発表会参加高校の東日本大震災ボランティア活動資金に

プログラム後半

17:15 式典

開会	司会 I. M. S A A	宮宅 勇二
・点鐘	ガバナー補佐	大西 信良
・国歌・ロータリーソング斉唱	ソングリーダー	河内 洋之
・開会の挨拶	ガバナー補佐	大西 信良
・歓迎のことば	ホストクラブ会長	永田 博巳
・来賓紹介	ガバナー補佐	大西 信良
・来賓挨拶	R I 第2680地区 ガバナー	大室 備
・祝電披露	ホストクラブS A A	好崎 泰州
・点鐘	ガバナー補佐	大西 信良

※チャリティー展示即売会〔2階 瀬戸の間〕

17:50 懇親会

	司会 I. M. 副S A A	井上規代子
・開宴のことば	ホストクラブ会長	永田 博巳
・乾杯	パストガバナー	神木 董
・歓談・アトラクション	スタンダードジャズ	林けい子 T R I O
・次期ガバナー補佐挨拶	高砂R C	山本 広志
・閉宴のことば	ホストクラブ副会長	林 知宏
・ロータリーソング「手に手つないで」	ソングリーダー	河内 洋之

19:45 閉会

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

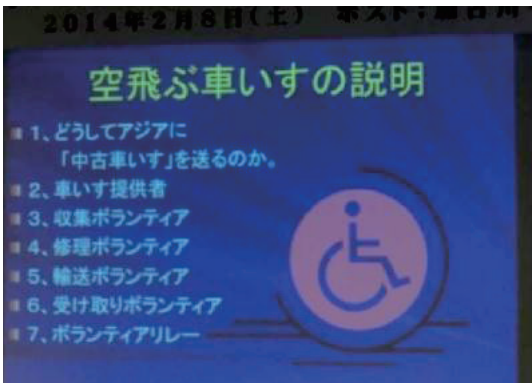
- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

◎未来を担う東播第2グループ内の夢ある高校生との集い



司会進行
県立加古川南高等学校 放送部

・県立東播工業高校「機械科：空飛ぶ車いすサークル」



「空飛ぶ車いす」の修繕ボランティアの取り組み

県立東播工業高等学校 空飛ぶ車いすサークル

平成16年度よりこの事業が立ち上げられ、平成17年度から本校機械科の科目「課題研究」の中で「空飛ぶ車いす」の修繕ボランティアの取り組みを実施してきました。現在では「空飛ぶ車いすサークル」として活動しています。

「空飛ぶ車いす」の修繕ボランティアとは、日本で使われていた車いすを修理・再生して、車いすが不足しているアジア諸国やアフリカの子どもや高齢者にプレゼントするボランティアです。日本では車いすが、老人ホーム等から取り上げられ廃棄されています。一方、アジアでは原則「自費購入」のため車いすがなくて買えない子ども達が大勢います。

国際ボランティアリレーの「バトン」は車いすです。リレーは「車いす提供者」→「収集ボランティア」→「修繕ボランティア」→「輸送ボランティア」（自分の手荷物として飛行機に持ち込みます）→「受け取りボランティア」へと繋がっています。

車いすがバトンとなって、飛行機で空を飛んでプレゼントされるので、「空飛ぶ車いす」と呼ばれています。

★贈呈状況

マレーシア	5台	台湾	12台	韓国	17台	スリランカ	13台
インドネシア	20台	中国	2台	タイ	51台	ネパール	9台
イタリヤ	5台	フィリピン	2台	パキスタン	2台	バングラデシュ	1台
タイ	15台	日本(内東日本経産局へ送付)	46台	合計	225台		

★活動支援等

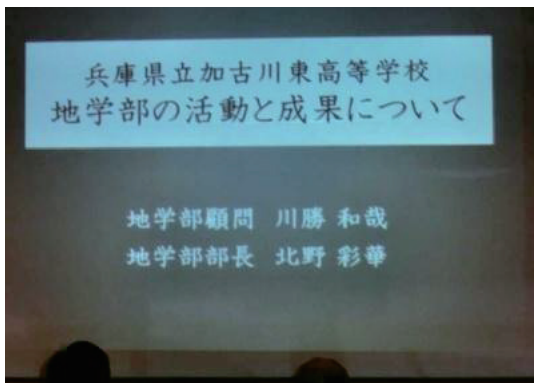
「神戸新聞」に掲載、「アジア新聞」(30分番組)で紹介、インドネシアより感謝状を頂く本校PTAより協賛を頂く、加古川中央ロータリークラブより協賛を頂く、「サンテレビ」で放映「国際ボランティア新聞」・「修繕生活創造新聞」・「社会新聞」・「朝日新聞」に掲載、パナソニック(株)の「社会貢献活動」に本校生徒の活動の写真が掲載される

兵庫県・高砂市・稲原町・加古川市の社会福祉協議会「社会だより」に掲載
第15,16,17回ボランティアスセリット賞のコミュニティ賞(全国版メダル受賞)
JICA国際協力実践生エッセイコンテストに応募
支那科学者のホームページ(本校の視覚地盤画に携わる児童生徒の活動事例)に掲載される

★協力団体等

加古川市立加古川南高等学校 兵庫県立いなみ特別支援学校 わかふゆ園(兵庫県たけなわ市東原町)
本校PTA 兵庫県社会福祉協議会 加古川市社会福祉協議会 高砂市社会福祉協議会
稲原町社会福祉協議会 明石市社会福祉協議会 朝野市社会福祉協議会 稲美町社会福祉協議会
新井田(伊豆447-7)201号 老人保健施設さくらノブス 明石愛老園(介護老人ホーム) 明石福祉病院
朝心病院(神志川地区) 福祉会 せいりょう園 稲美町(伊豆447)201号 明石市立明石南高等学校
加古川中央ロータリークラブ 和泉会社 モリヤ製菓 兵庫県肢体不自由児協会 ステップハウス
ハイドラアジア障がい者小規模作業所 兵庫県看護専門学校センター 加古川市社会福祉協議会
ひょうごボランティアクラブ 兵庫県社会福祉協議会リハビリテーションセンター
東方文化芸術社 ヨーデルの森 特別養護老人ホーム康寿 その他(個人)

・県立加古川東高校「地学部」の活動について



兵庫県立加古川東高等学校 地学部
2003年4月創部 部員：1年13人、2年15人、3年15人
顧問：川勝和哉、北野彩華、小島高司、石岡守、宮川浩子

- The differentiation process of the E-type granitoids in southwest Japan and New South Wales in Australia.** (西南日本とニューサウスウェールズのE型花崗岩のマダマ分化過程～マダマプロセス)

川勝和哉・北野彩華・平谷尚哉・斎藤友佳・大野優希・増田浩利・河江俊明・木下真由美・小寺航貴・岸田理紗・西田夏希・吉岡亮希

マダマかんどのような条件でどのような鉱物が結晶化するのかはまだよくわかっていない。筆者らは西南日本とニューサウスウェールの地域で花崗岩を詳細に研究し、マダマ分化過程の条件を明らかにする論議を発表した。これを基として明らかにしたマダマ分化過程をマダマプロセスとして関連させた国際学会AGI (Abstract Geofield Days) で発表し、北山の博史先生にも賛同する学術的意義の高い研究であるとして大きな反響をよんだ。日本地球科学連合会など。
- 地塊境界別「龜山石」の加工現象動態を利用した岩内構造診断の提案**

五百井悠一郎・稲岡大樹・川勝和哉・長谷川真緒・藤原悠・池田伸子・若本有知

地塊に広く分布する高純度結晶岩「龜山石」の加工の型による欠陥の発生形態を、野中に露出することはないかと考えた。龜山石は高い強度をもっており、その欠陥を岩内構造診断としてマダマプロセスに活用することによって、特殊入りりの変形帯の強度低下の指標としても高い精度を示すことが明らかになった。この成果はエッセイフォーラム2023において地質科学賞を受賞した。京都大学の特別プロジェクトでも高い評価を得ている。地元の産地であるイデで開かれた国際学会で政府関係者に発表し高い評価を得た。日本農林水産省農産部、東京理科大学理学部地質学専攻など。現在いくつかの産地と連携して商品化に向けて取り組まれている。
- 地塊境界別「龜山石」の加工現象動態を利用した地層の色別変化**

五百井悠一郎・稲岡大樹・川勝和哉・長谷川真緒・藤原悠・池田伸子・若本有知

2と同様に、地塊で広く分布している地層に産物を利用する方法を考えた。龜山石には青、黄、赤の3色の色相があり、それらの産物を産物別に調り込んで陶器を作った。同じ産物の色や産物種類・産地などの条件を定めておいて、龜山石の美しい色相を反映した陶器を作ることができる。この成果を地元産地に提供し、共同で研究を進めている。
- 本校体育館下から掘れたボーリングコアから推定する加古川流域の地層構造の分布**

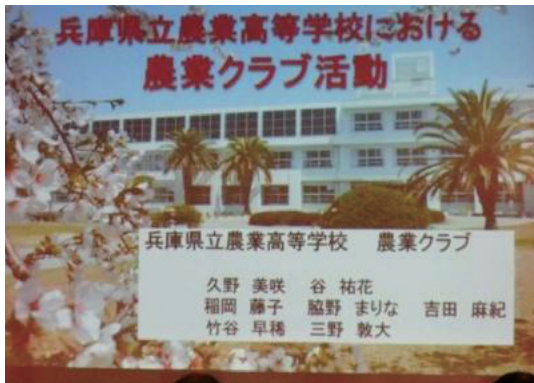
五百井悠一郎・池田伸子・川勝和哉・長谷川真緒・平谷尚哉・藤原悠・若本有知

本校の産地地質調査の際、体育館下で13mにわたってボーリングコアを採取した。かつて加古川は本校が産地している場所を流れており、そこには流れてきた産物も残っている。このコアからは推定されている。これを基に、地元の産地から掘れたボーリングコアと同等の品質をもつ産物の分布を推定した。兵庫県高等学校協会文化祭発表会。
- マダマの産物による地層の構造診断の適用性の調査と和歌山**

池田伸子・若本有知・北野彩華・平谷尚哉・斎藤友佳・大野優希・河江俊明・木下真由美・小寺航貴・岸田理紗・西田夏希・吉岡亮希

地塊はマダマプロセスで形成されたものであり、その構造は地層に反映している。しかしその構造は地層の構造に反映して変化し、そこから地層は開き、そこから大きな産物も産出されている。産物の産地や産物種類を定めておいて、産物の異なるマダマ産物の色相を明らかにした。日本地球科学連合会、東京理科大学理学部地質学専攻など。

・県立農業高校「農業クラブ」の活動について



「県立農業高校」・「農業クラブ」の活動

農家の日頃の活動のほんの一部をご紹介します。

- 「農業クラブ」の活動**

農業クラブでは、活動の一部としてプロジェクト発表・意見発表・鑑定などの競技を行っています。

今回は第61回滋賀県学校農業クラブ連盟大会プロジェクト発表競技(文化生活の部)において優秀賞を受賞した。生物工学科花餅母研究会が発表を行います。加古川は市花、サルビアから採取した天然酵母から日本酒を醸造！地元加古川の酒造メーカーとのコラボレーションの様子をご覧ください。
- 「県立農業高校」の活動**

本校のとりにくみについて紹介します。

 - 農業クラブの研究紀活動
 - 各科(農業科・園芸科・動物科学科・食品科学科・農業機械工学科・造園科・生物工学科)のとりにくみ
 - 神戸元町水曜市や百貨店、スーパーヤマダの販売会の様子を紹介

◎本校が継続的に取り組んでいる東日本大震災農業復興ボランティアの様子をお伝えします。

特に今年度は第7回目を迎える東日本大震災のボランティアでは、「心の復興支援コンサート」と題して、宮城県宮城農業高校・宮城県亶理高校とコラボレーション！東北の方々の心を癒やしました。

～地域とともに活躍する兵庫県立農業高等学校の生徒の活躍をご覧ください！～

- ・ 県立加古川南高校「我が家の防災対策シート」について
加古川市広報（平成25年7月号）に掲載



県立加古川南高等学校

『防災シート』で市民の意識を高めたい!

1 加古川南とのコラボレーション

加古川市は、市民と市長との対話の場を「タウンミーティング」と表付けています。平成17年1月のタウンミーティングでは、本校生が提案した、「子育て世代が交流できるイベントを『ここにファミリー園遊会』と名付け、企画・実施され、本年度で3回目を迎えます。実行委員会は本校生で立ち組織し、運動会参加者も100組を超える名物行事となりました。平成20年1月19日に実施された、第20回のタウンミーティングのテーマは「防災」。当時3年次であった本校生が、2歳それぞれに提案し、それぞれのアイデアを提案しました。このうち、当時3年次であった藤原祥紀(ひまはら まき)さんの考案した「防災対策シート」を、改良して市役所に提出したいとの申し出が、加古川市からありました。考案者の藤原さんはすでに卒業していたため、3年次生の北条紀子(きた けいこ)さん、小嶋千穂(こじま ちほ)さん、辻沢(つじさわ)みどりさんが引き継いでくれました。

2 生徒の思い

阪神淡路大震災の年に生まれお世話になったことと、東日本大震災はどこかよそ事だった自分を感じた気持ちとが、藤原さんがこのシートを作る原動力になっています。また、学校から参加した被災地で支援ボランティアの経験に燃いた、「家族はバタバタと逃げたが、誰も合う場所を日ごろから探し合っていたので、無事済んだ」という話から、アイデアが浮かんだとのこと。

「家族で話し合うことで防災への意識付けをして欲しい。『防災』について知っておくことが一番の『防災』になる」という彼女の理念を受け継ぎ、3人の後継者が「防災シート」を完成させました。そこには、市民の皆さんのお手で、「防災」の意識が当たり前に定着していくという気持ちと、たとえ災害に出会ったとしても、パニックに陥ることなく全員が無事に逃げ延びて欲しいという気持ちとが込められています。

3 「防災シート」加古川市広報に掲載!

加古川市の広報7月号に、ページをお借り、「我が家の防災対策シート」～みんなで作って読んでみよう!」が、家庭保存版として掲載されました。

4 加古川南高校放送部です!

加古川南高校放送部は、毎年6月に行われる「N日県立全国高校放送コンテスト」(通称Nコン)に参加したり、11月には高等学校総合文化祭に参加したりしています。夢は全国制覇。毎日練習に励んでいます。Nコンで全国制覇して、夏の甲子園で開会式の司会をすることが目標です。兵庫県は、少人数制の学校がたくさんあるので、なかなか県大会でも勝ち残れませんが、今では、県大会の決勝まで行けるようになりました。夢をかかえるために、練習一回、精一杯の努力をしています。

校内では、放送部がのど歌を演奏したり、部の放送をしたりして、生徒の皆さんに楽しんでもらえよう、頑張っています。各種行事の司会は、ほとんどを放送部員が行っています。校外では、JANIS JANISに出演するなど、少しずつですが原稿の幅が広がってきました。これからも、加古川南高等学校放送部をよろしくお願ひします!



県立高砂高校

「ビッグ・フレンドリー・ジャズ・オーケストラ」

◎式典



感謝「四つのテスト」バナー贈呈式



司会 宮宅勇二 I.M. S A A



開会の挨拶 大西信良ガバナー補佐



歓迎のことば
永田博巳 ホストクラブ会長



来賓挨拶
大室 儁 RI第2680地区ガバナー

◎懇親会



司 会
井上規代子 I.M. 副S A A



開宴のことば
永田博巳 ホストクラブ会長



乾 杯
神木 董 パストガバナー



歓談・アトラクション
スタンダードジャズ 林けいこTRIO



次期ガバナー補佐挨拶
高砂RC 山本広志会員



閉宴のことは
林 知宏 ホストクラブ副会長



「手に手をつないで」

会 長 片嶋 純雄 幹 事 高木 史郎
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 純次
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/